

議会だより

おしのがき

No.47

平成28年8月10日

発行：徳島県吉野川市議会



吉野川市納涼花火大会

市村 茂樹（鴨島町）

目次

議案の審議から	2	委員会構成	15
副議長あいさつ	5	クイズ	15
代表質問	6	あとがき	16
一般質問	8		



審議から

6月議会では、条例案3件、予算案2件、その他1件が提案され、審議されました。

総務常任委員会

▼吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

▼吉野川市税条例等の一部を改正する条例について

▼平成27年度吉野川市一般会計補正予算について

▼吉野川市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について

質問

本条例を改正することにより市民にとってどうなるのか。また、システム改修が必要になると思うが費用は。

管財システム課長

障がい者に関する事務や、はぐくみ医療に関する事務等の受付や申請時の添付書類等に関して、年度途中で転入された方、情報が本市にない方の手続きが軽減される。

しかし、本市に住所がある方については、本市に情報があるため変更はない。

▼平成28年度吉野川市一般会計補正予算について

質問

被災地熊本県内への職員派遣費用として、100万円を増額しているが、何名の職員を何日間派遣しているのか。また、報告書が提出されると思うが、議会にも提出する考えは。

総務部次長

これまでに6名を派遣し、内訳として保健師1名、益城町支援チームとして事務職員4名、家屋被害認定支援として技師1名を派遣している。日数については、移動日を含め5日間となっている。派遣した職員には、現地での状況、本市が被災した場合の課題などを含めた報告書の提出を求めている。提出された報告書については、議会にも回覧したい。

◇以上異議なしで可と決定



平成28年6月議会 定例会

会期：平成28年6月6日～6月24日

議案の

文教厚生常任委員会

▼平成27年度吉野川市一般会計補正予算について

▼平成28年度吉野川市一般会計補正予算について

▼高越小学校・こども園(仮称)新築工事請負契約の締結について

質問

契約金額は、21億8160万円とのことだが、解体費用は別途となっており、契約の金額に含まれていないのか。

学校再編準備室長

既存校舎・体育館の解体および運動場等の整備に係る外構工事は、現在の契約の中には含まれていない。

質問

入札に関して、今まで工事を発注するたびに、高額な追加変更工事が出ている。最初の積算や精査また計画が甘いのではないのか。今回は精査されたものと思うが、追加変更はあるのか。

学校再編準備室長

工事請負契約については、現状において追加や変更が生じないよう精査して発注し、仮契約を締結している。工事工程の中で、できる限り計画どおり進められるように努める。

質問

高越小学校・こども園建設における今後の工程と、工事期間中の子ども達の安全対策と保育所の騒音対策をどのように考えているのか。

学校再編準備室長

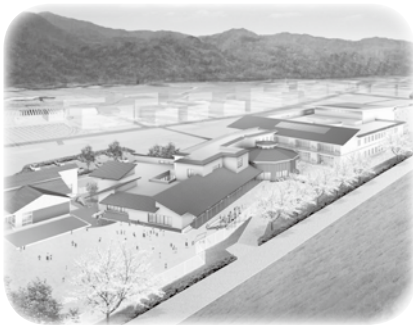
今後のスケジュールは、平成28年7月から準備工事を行い、8月・9月は土木工事と現プールの解体、10月から躯体工事に入り、平成29年3月から7月が仕上げ工事の予定。来年度の夏休み中に、川田中小学校・幼稚園・山川南保育所の引越しを終了する。平成30年4月開校・開園の予定となっている。

安全対策は、平日午前7時から8時の1時間は工事車両の通行を禁止し、「通行の手引き」を作成し運転者への周知と安全意識の向上により、児童・園児の登校時の安全確保と交通事故の未然防止に努める。

山川南・中保育所長

保育所におけるお昼寝時の騒音問題については、音や震動、埃等が子ども達の安眠妨害とならないように、業者と十分に協議をしながら対策を考えていきたい。

◇以上異議なしで可と決定



高越小学校・こども園(仮称)の完成予想図

平成28年6月議会
定例会

会期：平成28年6月6日～6月24日

議案の審議から

産業建設常任委員会

▼平成27年度吉野川市一般会計補正予算について

質問

ふるさと納税寄付金の確定により歳入が1157万円減額されている原因は。

商工観光課長

平成27年度当初予算で寄付金を3000万円計上、平成27年12月補正で5000万円を増額し、8000万円を目標に事業を推進した。スイートコーン「甘々娘」等、33品目を記念品として新たに加えるなど、充実化を図ってきたが目標には達せず、寄付金額6843万円となったため減額した。

質問

平成28年度のふるさと納税寄付金の目標達成に向けた具体的な取り組みは。

商工観光課長

具体的には、カタログ写真のリニューアルや、ふるさとチョイス有料プランの導入に加え、大ヒットのスイートコーン「甘々娘」に続く新記念品として、麻植郡農協と連携しスイートコーン「しあわせコーン」の産地化、作付面積拡大を行った。スイートコーン以外にも、積極的に掘り起こしを進め、ふるさと納税記念品に加えていきたい。

▼平成28年度吉野川市一般会計補正予算について

質問

向麻山公園の一部で園路が立入禁止となっており、このたび公園変状斜面の調査ができた。この変状斜面を崩れないようにするためには多額な経費が必要になる。因果関係を明確にし、原因者に十分な補償を要求しながら進めてもらいたい。

商工観光課長

調査結果をもとに被害者の立場から、原因者に対して必要な対策および公園の現況復旧を求め、安心して利用できる公園とするべく全力を尽くしていきたい。

市としては、やるべきことを弁護士と連携して手順を踏み、まずは話し合いから着実に行うことにしている。

◇以上異議なしで可と決定



市特産品ブランド認証品の
パンフレット

副議長あいつし

副議長
田村 修司

6月議会定例会におきまして、全議員のご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。身に余る大役を押し、その責任の重さに気持ちを引き締め、任に向き合っているところです。

少子高齢化・人口減少時代にあつて、本市の抱える諸問題への対応は急務であり、議会は二元代表制における役割を「チェック&バランス」でしっかりと果たしてまいらねばなりません。

市民の皆様の安心と安全、そして活力ある吉野川市づくりに向かって、議長を支え、公正かつ健全な議会運営に努めてまいります。

市民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。

いごとが聞きたい

代表・一般質問

6月議会定例会では12名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

①河野利英

- 市長選挙について
- 本市の人口予測について
- 防災行政について
- 西消防署建設について

②高木純

- 活気あるまちづくりにとり取り組むのか
- 企業版ふるさと納税について
- 吉野川の大規模氾濫と内水被害対策について

一般質問

③栗原五男

- 防災体制について
- ふるさと納税について
- 向麻山公園について
- 移住、定住について
- 商店街活性化について
- 教育関係について
- 市長所信表明から

④川村辰夫

- 大規模地震災害時のボランティア活動について
- 大規模地震災害時の仮設住宅建設について
- 農業委員会法の改正について

⑤工藤俊夫

- 文化財について
- 空き家対策について
- 防災・減災対策について

⑥岸田益雄

- 通学路等の交通安全について
- 公用車の交通事故防止について

⑦阿佐勝彦

- 放課後児童クラブ利用料軽減事業について
- 山川西部地区の学校再編による放課後児童クラブの統合について
- 児童館の運営について
- 手話の普及について

⑧岡田光男

- 消費税増税分について
- 出前講座について
- 子育て支援事業について
- 防災対策について
- 奨学金制度について

⑨相原一永

- 国土強靱化地域計画の策定に向けた市の取り組みについて
- 食品ロス削減について
- 地域で取り組む引きこもりの社会復帰支援について

⑩枝澤幹太

- 女性の社会進出について
- 性的マイノリティについて
- 次世代を担う子どもたちの育成について

⑪岸田秀樹

- 自治会への加入促進について
- 資源化ごみモデル集積所の管理について
- 市内小学校のトイレ洋式化について
- 南海トラフ巨大地震対策について
- 自主防災会の今後のあり方について

⑫増富義明

- 財政運営について
- 一般廃棄物処理について

代表質問



河野利英
(薫風会)

4期目への市長選挙出馬の意向は

(質問)

本市発展のため全身全霊を傾注し、市長選挙へ出馬する

(答弁)

◎質問

川真田市長は、平成16年11月、本市の初代市長として、多くの市民の皆様からご支持のもと市長に就任された。市長は、就任にあたり地方自治の原点である市民本位の市政運営と合併効果を生かした行財政改革の推進を掲げて、公平公正な市政運営を堅持し、市民の負託に誠心誠意に応える決意をされた。合併当初から本市には多くの行政課題があ

り、就任されて11年8か月、様々な施策に取り組まれてきた。行財政改革推進、教育環境整備、子育て支援事業創設、防災関連事業実施など、限られた財源の制約の中で成果を上げられたことは、高く評価するところである。しかしながら、市民が安全に安心して快適に暮らせる市にするためには、まだまだ重要な行政課題が残されている。この課題を解決するには、多くの施策

が必要と考える。行政の責務として、途切れの無い行政運営をし、責任をもって次世代へ引き継いでいかなければならない。私たち薫風会は、川真田市長の政治姿勢に賛同し、政治手腕に期待をしているところである。さらなる本市発展のため、次期市長選挙に出馬を要請し、決意を問う。

○川真田市長

市民の皆様の御信任を賜り、初代市長就任以来市政の舵取りを担わせていただいている。何よりも、公正で公平な市政運営を旨に、合併効果を最大限に活かした「選択と集中」により、市民の負託に誠実誠意、尽くしてきたつもりである。今任期中、市政10周年を市民の皆様とお祝いすることができ、市としての一体感の醸成に万感胸に迫るものがあった。これまでの成果

をより確実なものとし、さらなる発展、本市の創生につなぐため「水滴石を穿つがごとく」市政運営もまた、日々の小さな努力を積み重ねつつ、新たな判断をいとわず、一刻の停滞もなく、重要な施策の進捗を図る時である。党派を代表して、次期市長選に出馬せよとの熱いお言葉は、光栄の極みであり、身の引き締まる思いである。これまで出会い、叱咤激励いただいた、多くの皆様に思いを致し、市長の立場を謙虚に受け止め責任を自覚した上で、市長選挙への出馬を謹んで表明させていただきます。

【その他の質問】

◎質問

国勢調査速報値に対する見解と財政運営は。

○政策監

人口減少対策に全力を尽くし、身の丈に合っ

た財政運営を行う。

◎質問

災害対応・準備状況と、住宅の耐震診断・耐震改修の今後の取り組みは。

○防災局長

地域防災計画に基づき諸対策を推進する。

○建設部長

木造住宅の耐震促進事業を継続して推進する。

◎質問

西消防署新庁舎の建設スケジュールは。

○防災局長

平成31年度に完成する予定。



市役所本館

平成28年6月 議会定例会



高 たか
木 ぎ
純 じゅん
(志誠会)

活気あるまちづくりに
どう取り組むのか

(質問)

地域資源を活かして新しい
吉野川市づくりに邁進したい

(答弁)

◎質問

人口減少や財政の縮小など、自治体の舵取りが難しい中で4選出馬を決意されたことは敬意を表するが、合併してから12年、様々な事業を行って人口減少を食い止めることや、経済の活性化に取り組み、一定の成果はあったものの目を見張るほどのものはなかった。活気あるまちづくりや、夢開くまちなどをキャッチフレーズを並び立てても、現実

塞感がただよい、残念ながら人口は減少し、高齢化が進んでいる。夢開く吉野川市にするためには、若者がこの吉野川市に定住してもらえることが最も重要で、そのために、企業誘致での若者の雇用の確保や、新しい産業の育成で、若者に就労や起業の機会を作り上げることだと思つた。

これまでの川真田市政の12年間では、若者の雇用を拡大したという実績は残念ながら

いと言わざるを得ない。無論、簡単にできうることではないし、近隣の自治体でも大きな成果は見られないので、大都会から離れた徳島では条件的に難しいとも考えるが、へんぴな田舎の自治体であっても、驚くようなアイデアで企業誘致に成功したり、新たな産業育成によって雇用を増やした自治体もある。「このままでは寂れていくばかり」「なんとかならないのか」と思っている市民に、企業誘致、新たな産業の育成、若年者雇用対策をどう取り組んでいくのか、市長の決意を市民に向けて語っていただきたい。

○川真田市長

本格的な人口減少が到来する中、本市をはじめとする地方都市へは、アベノミクス効果は限定的にとどまり、今後大変厳しい状況が予想される。

麻をはじめとする本市の地域資源を活かした産業化の推進や、人の流れの好循環を生み出す拠点作りなど、活気あるまちづくりのため、市民や関係団体と協働・連携して新しい吉野川市づくりに邁進したい。

【その他の質問】

◎質問

「企業版ふるさと納税」をどのように取り組むのか。

◎政策監

地方創生ならびに人口減少克服を実現するための施策の構築や財源確保のひとつの方策として、関係部局間の連携を密接に図り、積極的に検討したい。

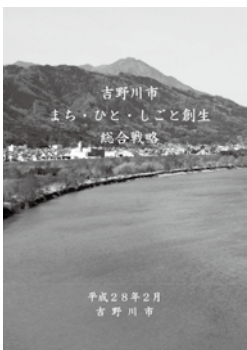
◎質問

国土交通省が、吉野川の「大規模氾濫に関する減災対策協議会」を立ち上げ、本市も参加しているが、市内の内水河川の氾濫も考え合わせた事前防災行動計画(タイムライン)が必要なのでは。

○防災局長

内水氾濫を考えたタイムラインは作成しているが、平成28年5月30日に国が発表した浸水想定区域図等をもとに再度検証し、吉野川市防災マップと併せて見直しを検討する。

また、浸水された場合の水深が大きく変更となったので、避難場所の再検討を行う必要があると考えている。



市まち・ひと・しごと
創生総合戦略

平成28年6月議会定例会

一般質問



栗原五男

旧麻植協同病院跡地の活用は

(質問)

中心市街地活性化懇話会での検討結果を基に計画を取りまとめたい

(答弁)

して取りまとめ、都市再生整備計画事業での承認申請を国へ行う予定としている。

○大久保産業経済部長

鴨島駅前商店街活性化の取り組みは、吉野川市空き店舗活用支援モデル事業をリニューアルし、対象エリアの拡大と一部補助対象要件の緩和などを行い、再スタートしている。



川村辰夫

新たな農業委員の選出方法と定数は

(質問)

市議会が同意後、市長が任命、定数は19名が上限

(答弁)

○新居産業経済部次長
①条例は、平成29年3月議会定例会を予定。
②定数を超える応募者があった場合、推薦委員等の設置も検討。
③農業経営計画を作成し、市から認定を受けた認定農業者のほか、その親族や家族等となっている。
④相互に連携協力し、農地利用の最適化を図る。

◎質問

旧麻植協同病院跡地利用は、市民の注目するところである。市民のための施設にするべきだと思いが、活用方法は。また、商店街活性化の取り組み状況は。

民が主役となるまちづくりをめざしている。地域住民の意見を求め鴨島駅周辺地区のあり方を検討するため、平成27年12月に市は地権者および商工関係団体、自治会の皆さまにご参集いただき、「吉野川市中心市街地活性化懇話会」を開催し、旧麻植協同病院跡地の活用を重点課題として協議した。それとは別

○村田建設部長

本市は、鴨島駅周辺における商業振興や居住空間の充実に取り組み、活力と賑わいの核

【その他の質問】

◎質問

防災体制における避難場所と備蓄品の状況、防災公園をつくる考え、新しいハザードマップの完成時期は。

○防災局長

指定緊急避難場所は29か所、指定避難場所は69か所、備蓄食は

◎質問

平成28年4月1日の農業委員会法の改正は、農業委員が農地利用の最適化のため、担い手への農地利用の集積、集約化、耕作放棄地の防止・解消、新規参入の促進などの業務が、これまでの任意業務から必須業務になり、また、農業委員の選出方法についても、従来の選挙制度と選任

○新居産業経済部次長

①市長が議会に選任議案を上程し、議会同意後、市長が任命する。定数は、法律の規定により19名が上限であり、条例により定数を決定する。
②地域区分の設定は、行わないこととなる。
③農業委員会が委嘱し、定数は17から20名程度、業務は農地利用の集積、遊休農地の防

◎質問

大規模地震災害時の仮設住宅建設計画は。

○防災局長

用地確保など、関係部署と調整し、計画策定に取り組みたい。

◎質問

災害ボランティア登

◎質問
本市の空き家調査の現状について、旧町村単位の調査の報告を求めます。
また、空き家に関するデータベースの整備

は、どうなっているのか。
先般5月13日の行政視察研修は、日本で初めて所有者が判明している特定空き家の行政代執行を実施している

市条例に基づき取り組んでいきたい

(答弁)

本市の空き家対策については

(質問)



工藤 俊夫

としての形成を目標としている。
まちづくりに関する市民の関心を踏まえ、市民と行政との協働によるまちづくりを進め、計画の各段階における積極的・継続的な参画を促す体制づくりに取り組むことで、市

に、周辺住民、まちづくり団体などの参加者と懇話会委員の参加もいただきワークショップを開催している。
事業の実施にあたっては、中心市街地活性化懇話会での検討結果を基に、財源なども含め実効性のある計画と

1万2545食、毛布・布団は850枚、飲料水30000リットル、簡易トイレは8260人分を確保している。
防災公園については今後、調査・研究する。
新しいハザードマップは、平成30年度の作成を予定している。

制度が廃止され、新たな選出方法になったが、
①農業委員の選出方法と定数は
②定数の地区割りは
③新設される農地利用最適化推進委員の選出方法、定数および業務内容は。

止・解消、新規参入の促進となっている。
◎再問
①定数条例制定の時期は
②市長の選任基準は
③認定農業者等とは
④農業委員と推進委員との関係は。

録制度は。
◎健康福祉部次長
登録制度は創設できていないが、平成27年3月に改訂した「吉野川市地域防災計画」では、災害ボランティア活動の啓発や登録をめざすこととなっている。

葛飾区に質問事項を送り、具体的な質疑応答をしながら研修を深めてきた。行政代執行に至った経緯については、建物の老朽化が進行し、倒壊などの危険性が切迫していたという理由と、本物件の北側には電車が走っており、南側には区立公園がある。このように、区民に危険がおよぶ可能性が高いという立地条件も加味して解体に至った。
本市も、市民に対して安全・安心を提供していくことが行政の責務である。市民に危険がおよぶ可能性が高い

状況に至った場合には、葛飾区などのように法律に基づき行政代執行の対応が必要であると思う。代執行について市の見解は。

◎村田建設部長

今年1月から自治会に依頼して、空き家の実態把握と概要の調査を実施した。

315自治会の調査を終え、1166戸の空き家を確認している。鴨島449戸・川島244戸・山川360戸・美郷113戸となっており、そのうち危険であると思われる物件が、各地区で

約6%となっている。
今後は、この概要調査結果に基づき、調査会社へ委託し詳細な調査を行い、正確な実情を把握して空き家情報のデータベースを整備することにしている。

◎河野副市長

「空家等対策の推進に関する特別措置法」において、市町村に強い権限を与えられているが、個人の財産権を侵害する恐れもあるため慎重な対応が求められている。東京都などの先進事例を参考として、取り組んでいく。



老朽危険空き家（撤去後）



老朽危険空き家（撤去前）

平成28年6月議会定例会

一般質問



岸 田 益 雄

鴨島小学校周辺への「ゾーン30」の早期実施は

(質問)

平成28年8月に実施予定

(答弁)

◎再問

運動会や参観日などの行事の時の、保護者の車への対応は。鴨島小学校周辺への「ゾーン30」の早期実施が必要であると思うが、実施時期は。

○藤野井副教育長

こども園や小学校の駐車場、周辺の公共機関等の駐車場などで対応。

○藤野井副教育長

保護者や地域の方々の協力をいただき、安全な登下校が可能となるよう計画を進める。

○増富健康福祉部長

職員の交通立哨や保護者による送迎時間帯の調整などを行う。

○村田建設部長

鴨島小学校の「ゾーン30」は、東は鴨島駅

「高越小学校」「高越こども園」が開校・開園されれば、現在の園児・児童数の約2.5倍となるが、一斉に登校する時間帯の周辺道路の交通安全対策はどのようになっているのか。市街地に位置し交通量の多い「鴨島小学校周辺エリア」に「ゾーン30」を設置すれば、児童の通学路の安全確

【その他の質問】

○川真田市長

鴨島小学校周辺エリアでの「ゾーン30」対策は、平成28年8月に実施予定。

◎質問

県内では、三好市で「手話言語条例」が制定され取り組みが進んでいるが、本市の現状を聞く。

①災害避難時の「防災ベスト」を市が支給

したが、聴覚障がい者側のみの着用は「人権への配慮が必要ではないのか」との意見もあるがどう考えるのか

②重度の聴覚障がい

阿 佐 勝 彦

手話言語条例を制定する考えは

(質問)

条例を制定している団体の情報収集を行い研究を進める

(答弁)

を配置しているのは、8市のうち6市となっている。

⑤手話通訳が必要な場合、窓口や市役所事業などの現場に派遣し、対応している。

⑥「手話奉仕員養成研修事業」を本市では、平成26年度から実施し、2年間で延べ31人が研修を終了しており、今後も継続して進めたい。

◎再問

手話育成と並行した「手話言語条例」制定の検討を始められないか。

○三木健康福祉部次長

「手話言語条例」の制定については、それぞれの施策を進めながら、先進的な団体の情報収集により研究を進めたい。

保だけではなく、生活道路における交通安全の確保ができ、さらには「歩行空間のバリアフリー化」と組み合わせ、鴨島駅前周辺市街地の活性化にもつながるが、実施は。

前通り、西を鴨島・上下島線、南を喜来・上下島線、北をJR沿いの市道としたエリア内で検討中。
「歩行空間のバリアフリー化」は中心市街地再生に向けた鴨島駅前周辺地区のまちづくり計画で検討する。

◎質問
ごみ収集車などに、ドライブレコーダーを搭載し、事故の減少を図っては。

◎環境局長
できるだけ早い時期に設置する。

者の人数と労働人口、また、具体的な取り組みは
③意思伝達の主な手段を手話としている方の人数は
④県内で、手話通訳を配置している自治体の数は
⑤手話通訳者の市役

握できていない。具体的な取り組みは、生活介護や同行援護などの福祉事業、補聴器等の給付サービスを実施している。
③本市の手話通訳派遣サービス利用者は、12人となっている。
④県内で手話通訳者



岡田光男

育児用品購入は、新生児誕生前の購入にも助成を

(質問)

実態に沿った助成制度となるよう検討する

(答弁)

◎質問
育児用品購入費助成事業にチャイルドシートが加わったが、本市では新生児誕生後に購入したものでなければ助成が受けられない。

阿波市のように出産前に購入したものでも出生届の際に申請すれば助成が受けられるようにすべきでないか。

◎質問
消費税5%から8%への引き上げで市の税収増は。また、その用途は。

◎増富健康福祉部長

本市の助成制度を利用しようと思えば出産して退院までの間に急いで購入しなければならず、かなりの負担となる。他市町村の同様の事業なども調査、研究を行い、より実態にあった助成制度となるよう検討する。

◎政策監

増収額は約3億円で、社会福祉や社会保険の経費の一部に充てている。

◎質問

ゴミ減量化推進のために、出前講座の充実は。

◎環境局長

受講対象者の拡大を積極的に行い、市内業者についても個別に行きたい。

◎質問

福祉避難所は、障がい者も含め273名の受け入れとなっている

が、希望者全員の受け入れは可能か。

◎健康福祉部次長

平成28年3月から収容数増となっているが、災害時には不足することから、新たな指定について関係団体への協力を依頼するなど取り組みを行う。

◎質問

市独自の奨学金制度を給付型の奨学金にできないか。

◎副教育長

今後、国・県の動向を注視しつつ、現行事業の課題解決に取り組みたい。



チャイルドシート

平成28年6月議会定例会

一般質問



相原 一永

「国土強靱化地域計画」を
策定してはどうか

(質問)

市の実情を踏まえ研究したい

(答弁)

○香川政策監
国の動向や県内市町村の策定状況、市の実情を踏まえ研究したい。

【その他の質問】

○質問
食品ロス削減のため、フードバンクとの連携や大学と協働しては。

○環境局長
今後調査・研究する。

○質問
引きこもり者の社会復帰支援をしては。

○健康福祉部次長
相談者の状況に配慮し、就労に繋がるよう取り組む。

1 **国土強靱化の基本目標**
人命の保護が最大限図られること



枝澤 幹太

性的マイノリティに対する
啓発事業の取り組みは

(質問)

人権施策推進計画に基づき
LGBT啓発事業に取り組んでいる

(答弁)

○伊藤副教育長
電話相談所を設けるなど支援事業を実施し、平成28年度も計画的に進める。

○伊藤副教育長
教職員の正しい理解を促進することが重要であり、管理職研修をはじめ人権教育担当者や生徒指導担当者を対象に研修を行っている。

吉野川市人権講師団講師を招き、これまで教育委員会や学校人権教育研究会が主催する教職員研修を行うなど、県に先駆けた取り組みを実施してきた。

平成27年度には、小中学校の人権学習にも講師として迎え、児童・生徒や保護者を対象として、性的マイノリティを取り巻く人権問題や他の尊重について考える人権学習を

○質問
「国土強靱化地域計画」は、今後どのような災害などが起こっても、被害の大きさ自体を小さくすることが期待でき、計画策定後は、国土強靱化に係る各種の事業がより効果的かつスムーズに進捗することが期待できるため、国としては平成27年1月に「国土強靱化地域計画に基づき実施

○香川政策監
地域計画については、生命と財産を守るために重要と認識しているが、広範な関係者との連携・協力が不可欠であり、多大な時間と労力を要するので、今後の課題としたい。

○再問
この計画には3つのメリットがある。
①どのような災害が起

○質問
平成27年4月に文部科学省通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」が示され、平成28年4月には学校における児童・生徒の状況、学校からの質問に対するQ&A形式の研修資料が出されたと聞いている。
この性的マイノリティ(性的少数者)に関係し

○犬伏市民部長
様々な人権問題に共通する要因のひとつが、知識不足や情報不足による思い込みや偏見であると考えられ、市民の方々に正しい知識をもっといただくためにLGBT啓発事業に取り組んでいる。
平成26年度は、隣保館、公民館などの指導者における研修会を実施、平成27年度には、

◎質問
現在、子どもたちを取り巻く生活環境は大きく変化し、学校と家庭での生活環境に大きな差が生じている1つにトイレがある。

ほとんどの家庭でトイレが洋式化する中、学校では洋式化がかなり遅れている。日々の学校生活において、子どもたちの不安要素を少しでも取り除

年次的な洋式トイレの整備計画を検討し対応していく (答弁)

市内小学校のトイレ洋式化について (質問)



岸 田 秀 樹

される取組に対する関係府省庁の支援」を決定している。今後、発生することが予想される大規模自然災害などから市民の生命、財産を守る観点から策定・公表するべきであると考えられるが。

こつても被害を小さくできる②関係府省庁所管の交付金・補助金が受けられる③国内外から適正に評価され投資を呼び込むことに繋がるなどが挙げられる。1日も早く策定・公表すべきだ。

- 2 国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- 3 国民の財産及び公
- 4 迅速な復旧復興

く意味でも、学校のトイレ洋式化は、必要不可欠であると思いが、市の考えは。

○藤野井副教育長
小学校のトイレについては、各学校建築年数により各校間で差がある。低学年の児童の中には和式トイレ使用に抵抗があったり、不安を感じたりすることも考えられる。トイレ改修にはいろいろな対応が発生し多額の予算を伴うが、学校現場からも、子どもの身体的・心理的要因に考慮しながら、少しでも洋式トイレの増設の要望があ

た調査では、対象者は13人に1人の割合であると発表されており、本市でも当事者の置かれている環境や周囲の知識不足により差別や偏見に苦しんでいる現状があると考えられるが、市としての啓発事業への取り組みは。

本市職員、市職員および小・中学校などで講演会を実施し、平成28年度も引き続き実施する予定となっている。支援活動としては、性同一性障害などの性的少数者(LGBT)の人やその家族からの

行っている。教育委員会として、国の通知を踏まえた学校のきめ細やかな対応が進められるよう、また互いの人権を尊重する人権教育の充実が図られるよう指導、助言を行っていく。

【その他の質問】

◎質問
資源化ごみモデル集積所を増設し、監視カメラの設置を検討しては。

◎環境局長
資源化ごみモデル集積所は、今後の利用状

るのも事実である。今後は学校の現状把握に努め、実情に合わせ、費用を抑えた改修、学校の再編や施設の老朽化などあらゆる条件を精査し、年次的な洋式トイレの整備計画を検討し対応していく。

況などに応じて検討していく。監視カメラの設置は、今後の推移を見ながら、地元の方々の意見をもらい、調査・研究をしていく。

◎質問
南海トラフ巨大地震対策について、高齢者の避難対策と避難所での介護対策は。

また、仮設住宅建設候補地の選定状況、県内沿岸市町からの避難者受け入れ対策は。

◎健康福祉部次長
高齢者の避難と介護対策は、想定される課題をピックアップし、

解決・継続の取り組みを進めていく。
◎防災局長
仮設住宅建設候補地の選定、県内沿岸市町からの避難者受け入れ対策は、今後検討し、調査・研究していく。



平成28年6月議会定例会

一般質問

意見書

■日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

○提出者 岡田 光男
全会一致により可決



増富義明

今後の財政運営は

(質問)

限られた財源を戦略的に配分

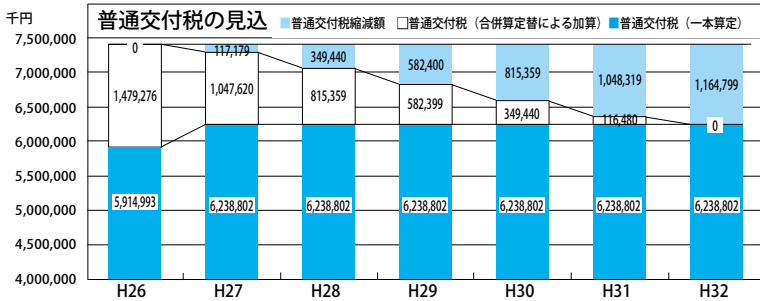
(答弁)

よつに取り組みむのか。

○香川政策監

歳入では、交付税加算や合併特例債発行などの優遇措置が終了するとともに、収入の根幹をなす市税収入の短期間での回復は望めず、歳出では、扶助費や一般会計からの特別会計への繰出金などの増加が見込まれており、厳しい財政状況が続くと考えている。

こうした財政状況において、市民生活に係る必要なサービスや健全財政の維持とを両立させるため、各事業の優先順位について厳しい選択を行い、限られた財源を戦略的に配分することで、人口減少や高齢化に対応したまちづくりに向けて様々な取り組みを軌道に乗せたいと考えている。



歳入の根幹をなす市税収入などの確保について、抜本的な増加を図るためには、基盤となる地域の活性化が必要不可欠である。使用料・手数料などの見直しや市有地の売

却・貸付などの資産有効活用とともに滞納の解消に向け、差し押さえなどを積極的に行う。また、平成28年度よりコンビニ収納の導入を行うなど、市税の収納率向上を図る。

綱」が示した本市の現状と今後の見通しは。

また、歳入確保に向けた取り組みで、市税収入などの確保として適切な滞納整理や滞納処分強化により、収納率の向上を図り負担の公平・公正性の確保に努め、納税機会の拡大を図るとしているが、持続可能な財政基盤の確立に向けて、財源確保に具体的にどの

◎質問

今後の財政運営の中で、人口減少や景気の低迷などにより、歳入確保が厳しくなる上、合併特例債の期限も平成31年度までであり、現状維持の財政運営では、平成29年度から基金の取り崩しを行いながらの苦しい財政運営に突入することは不可避である。「第3次吉野川市行財政改革大

会議録をご覧ください

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますのでぜひ一度ご覧ください。

吉野川市議会会議録

検索



本会議・委員会を傍聴しませんか

皆さんが選んだ議員の活動や、行政がどのようなことを行っているかを知っていただくために、議会の本会議などの傍聴をしませんか。

どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。 TEL (0883) 22-2241



各委員会構成

【常任委員会】

総務常任委員会（7）

委員長 岸田秀樹
副委員長 岡田光男
委員 川村辰夫

文教厚生常任委員会（7）

委員長 枝澤幹太
副委員長 福岡正
委員 田村修司

産業建設常任委員会（6）

委員長 高木純
副委員長 阿佐勝彦
委員 塩田智子

議会運営委員会（7）

委員長 河野利英
副委員長 相原一永
委員 岸田秀樹

議会広報特別委員会（6）

委員長 岡田光男
副委員長 岸田益雄
委員 田村修司

監査委員（1）

岸田益雄

工藤俊夫
原田由一
岸田益雄
塩田智子
阿佐勝彦
高木純



クイズ



■国名を表す漢字です。漢字をひらがなに直してください。

- ① 墨西哥
- ② 葡萄牙
- ③ 瑞典
- ④ 埃及
- ⑤ 新嘉坡
- ⑥ 秘露
- ⑦ 諾威
- ⑧ 越南

◎正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎応募要項 はがき、またはFAXに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、

議会事務局へお送りください。
応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎送り先 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島15番地1
TEL (0883) 22-2241

FAX (0883) 22-2242

◎締切日 平成28年9月30日(消印有効)

チョットひと言

☆44年間勤めた会社を2月に退社しました。元気であるため、毎朝ラジオ体操をおもいつきりやっています。(鴨島町 濱崎さま)

☆暑くなってきたので、日焼け対策を考えています。熱中症に注意。(川島町 西條さま)

☆No.46の表紙がともよかったです。可愛い花の前に可愛らしい園児の笑顔がとても素敵でした。(山川町 北岡さま)

(前回の回答)

- ①しも
- ②ひょう
- ③みぞれ
- ④もや
- ⑤あられ
- ⑥しんきろう
- ⑦にわかあめ
- ⑧へきれき

【応募総数】 63通

募 集 要 項

表紙の写真 募集



- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規定** モノクロおよびカラープリント 2L判～四切・W四切組 写真も可(3点まで) 住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締切** 平成28年9月30日(消印有効) 発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL(0883) 22-2241
FAX(0883) 22-2242

市民の皆さんの声を掲載

- … 規 定 …
- 400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
- 締め切り
平成28年9月30日(消印有効)
*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。
校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

…あて先…
〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島 1 1 5 番地 1
TEL(0883) 22-2241
FAX(0883) 22-2242

あとがき

40数年、写真や映像表現に関わってきた。若い頃は美しい風景を見付け出し、花鳥風月に興じた。そして写真は、自身を写すポエムだとも感じていた。

2人の写真家に師事し、写真やビデオ撮影を30歳半ばで生業にするようになった。その仕事の大半は人の成長の節目であったり、慶弔事などを写し止めることである。記録である。

生業として携わる程に、絵画や彫塑などと並んで、その技術性は同等だと思っていたのだが、世間での写真の芸術的評価は低い。「写真は少し違うのではないのか。」

写真や映像を通じてでなくてはできないことがある。それは歴史の証言ではないのか。

絵画で世界が変わることは無いと思うが、1枚の写真が世の中を変えることがある。

写真の芸術性を否定する訳ではない。絵画、彫塑、

詩、小説など、それぞれの形で私たちの生活に関わっている。

今、憲法改正やアベノミクスのは非について論議されている。その多くは国会議員の仕事である。私たち市議会議員にも、市民の皆様への財産と生命を守る大きな使命がある。

取りにも直さず、次世代を担う若者世代に禍根を残さない日本にしなければならぬ。



- 【編集委員】
- | | |
|------|------|
| 委員長 | 岡田光男 |
| 副委員長 | 岸田益雄 |
| 委員 | 田村修司 |
| | 枝澤幹太 |
| | 高木純 |
| | 北川麦 |